

平成31年度 東京都立桜修館中等教育学校の適性検査問題の出題の基本方針等

1 出題の基本方針

- (1) 小学校で学習した内容を基にして、思考・判断・表現する力をみる。
- (2) 与えられた課題の条件を整理し、論理的に筋道を立てて考える力をみる。
- (3) 身近な生活を題材としてその中にある課題を自分の経験や知識で分析し、考えや意見を的確に表現する力をみる。

2 適性検査問題の出題の方針、問題の構成及び主なねらい

出題の基本方針を踏まえ、以下のとおり適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱを実施する。

適性検査Ⅰ（45分）

- (1) 出題の方針
与えられた題材の中から課題を見つけ、情報を整理し、自分の考えや意見を正しく表現し、的確に文章にまとめる力をみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
二人の哲学者の文章の一部分を読み、著者が伝えたいことや自分が考えたことなどを、与えられた条件に則して40字、160字、500字以内で文章にまとめ、論理的に表現する力をみる。

適性検査Ⅱ（45分）

- (1) 出題の方針
資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を3問とし、小問12問で構成する。
 - ・ クッキー作りを題材とし、与えられた条件をもとに、情報を整理して論理的に考える力、クッキーの枚数と面積の関係を考察し処理する力、立体図形を平面的にとらえて思考する力などをみる。
 - ・ 訪日外国人旅行者を題材とし、複数の資料から読み取った情報を関連付け、それを活用し、考察する力をみる。
 - ・ 紙や糊を題材とし、条件や基準を揃えて性質を比較する力、観察結果から素材の特徴を考察する力、得られた結果を踏まえて実験計画を立てる力および的確に表現する力をみる。